

【H29年度取組状況】

◆ 安全な避難行動のための取組

岩手県風水害対策支援チームを設置し、市町村の避難勧告発令等を支援

平成29年6月に設置、台風接近時に避難勧告発令等を2回助言



【H30年度取組内容】

◆ 安全な避難行動のための取組

岩手県風水害対策支援チームの活動の継続、市町村研修への講師派遣

台風等接近時にチーム員を招集し、市町村に対する助言内容を検討



岩手県県土整備部河川課(1/3)

【H29年度取組状況】

◆安全な避難行動のための取組

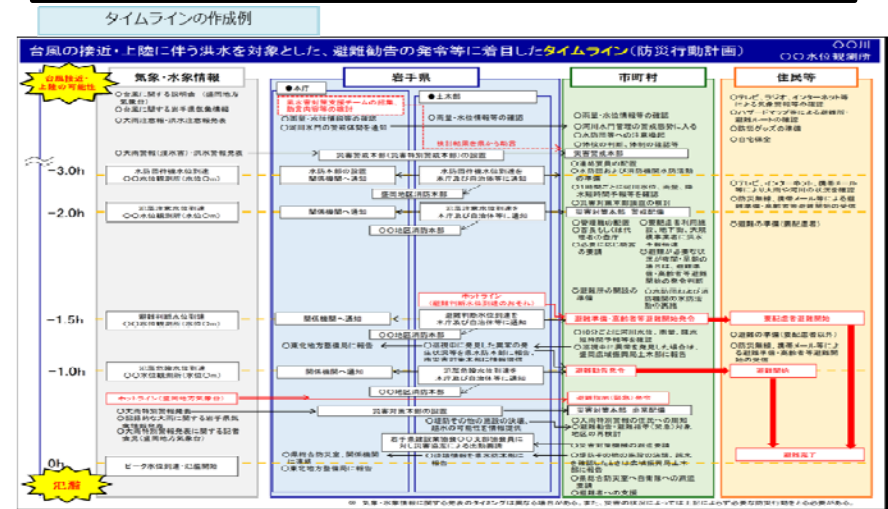
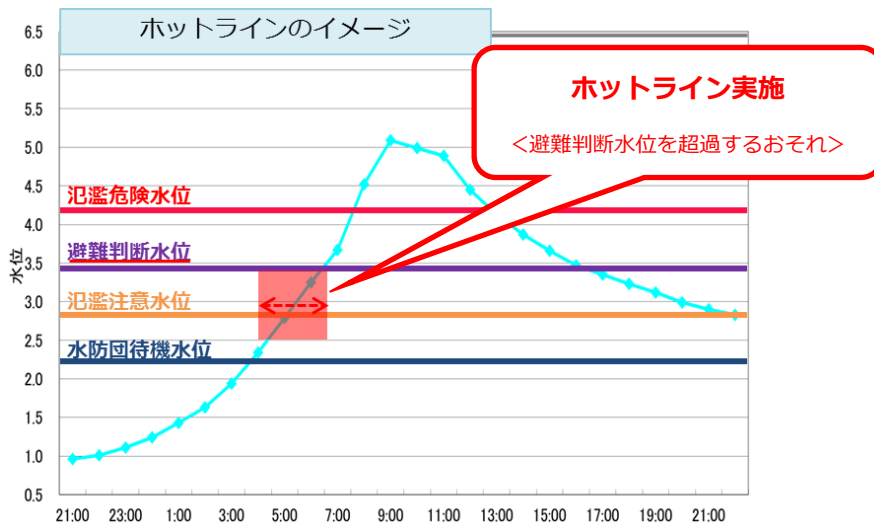
◆避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

ホットラインの運用

水害対応タイムラインの作成

水位周知河川において、河川管理者と市町村長によるホットラインを構築し、水防体制を強化

市町村や盛岡地方气象台等の関係機関と連携して、23河川(うち当圏域4)において水害対応タイムラインを作成



岩手県県土整備部河川課(2/3)

【H29年度取組状況】

◆避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

河川監視カメラの設置

水位周知河川に指定済みの河川に、水位監視カメラを設置し、水防体制を強化



【H30年度取組内容】

◆安全な避難行動のための取組

水位周知河川の指定拡大

水位周知河川指定5ヶ年計画に基づき、馬淵川を指定予定

○水位周知河川指定5ヶ年計画

	指定河川	
H29	2河川	小本川(岩泉町)、安家川(岩泉町)
H30	13河川	稗貫川(花巻市)、千厩川(一関市)、大川(一関市)、松川(八幡平市)、胆沢川(奥州市)、諸葛川(滝沢市、盛岡市)、雫石川(雫石町)、 馬淵川(葛巻町) 、北上川(岩手町)、和賀川(西和賀町)、閉伊川(宮古市)、普代川(普代村)、宇部川(野田村、久慈市)
H31	2河川	岩崎川(紫波町、矢巾町)、人首川(奥州市)
H32	3河川	小本川(岩泉町)、安家川(岩泉町)、小烏瀬川(遠野市)
H33		刈屋川(宮古市)、長沢川(宮古市)
合計	20河川	

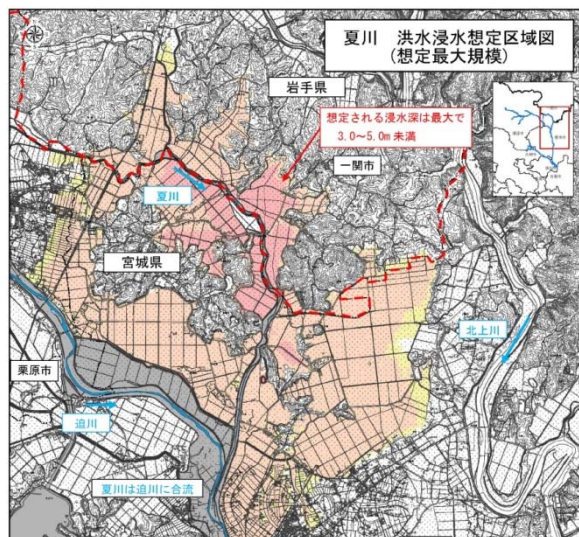
■岩手県県土整備部河川課(3/3)

【H30年度取組内容】

◆安全な避難行動のための取組

洪水浸水想定区域の指定拡大

洪水浸水想定区域指定5ヵ年計画に基づき、雪谷川、瀬月内川を指定予定 ※馬淵川はH29指定済み



◆避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

危機管理型水位計の運用開始

危機管理型水位計を県内に約300基 (うち当圏域約30基) 設置予定

洪水時に特化した低コストな水位計(概要)

(参考)

【目的】

洪水時のみの水位観測に特化した低コストな水位計を開発し、都道府県や市町村が管理する中小河川等への普及を促進し、水位観測網の充実を図る。

【特徴】

- 長期間メンテナンスフリー (無給電で5年以上稼働)
- 省スペース(小型化) (橋梁等へ容易に設置が可能)
- 初期コストの低減
(洪水時のみの水位観測により、機器の小型化や電池及び通信機器等の技術開発によるコスト低減)
(機器設置費用は、100万円/台以下)
- 維持管理コストの低減
(洪水時のみに特化した水位観測によりデータ量を低減し、IoT技術とあわせ通信コストを削減)

【現状及び今後の予定】

- 開発12チーム(21者)により機器開発中
- 平成29年8月から、開発した水位計を鶴見川水系烏山川(横浜市内)に順次設置し、試験的に水位観測を開始
- 計測の確実性や計測データの精度等を検証
- 平成29年内に機器開発を完了の後、機器特性をとりまとめ公表
- 平成30年より、順次現場へ設置予定

洪水時に特化した低コストな水位計



岩手県風水害対策支援チームを初めて招集し、市町村へ警戒体制の確立等に係る助言を実施

- 岩手県では、平成28年台風第10号災害の教訓等を踏まえ、市町村の避難勧告等発令を支援するため、平成29年6月に「岩手県風水害対策支援チーム」(以下、支援チーム)を設置。
- 台風第18号が県内に接近することから、支援チームが初めて招集され、対応について協議。
- 県では、支援チームからの助言を受け、各市町村へ早目の警戒体制の確立等について助言を実施。

- 台風第18号接近に伴う岩手県風水害対策支援チームの活動等
 - 9月17日11時00分 支援チーム招集
台風第18号接近に伴う対応について協議
 - 9月17日12時30分 県は、支援チームからの助言を受けて、各市町村に助言を実施

- ・県内全域に17日夜遅くから大雨・洪水警報が発令される見込み
- ・特に沿岸南部および宮古市、山田町は警戒が必要

上記の気象予想等を踏まえて以下の助言を実施

- ・早めの警戒体制の確立
- ・明るい時間帯での避難勧告等の発令

- 各市町村の対応
 - ・台風接近に伴い、災害警戒(対策)本部を設置
(気象警報が発表された21市町村のうち、18市町村では気象警報発表前に災害警戒(対策)本部を設置)

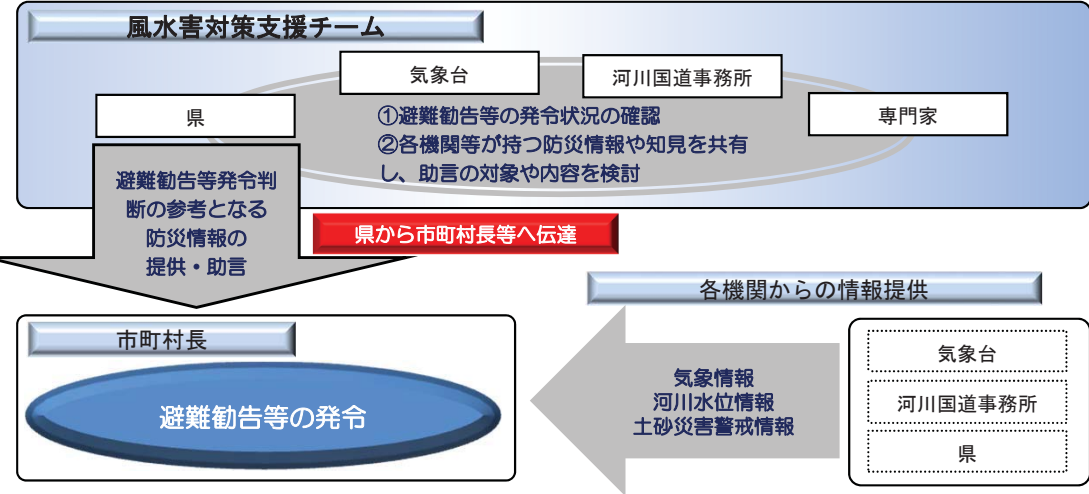
【市町村による警戒体制確立例】
 災害警戒本部設置 9月17日13時00分
 避難準備・高齢者等避難開始発令 9月17日15時00分
 気象警報発表 9月17日19時11分

- 支援チームによる検討状況
- 支援チーム構成員



- ・岩手県(総合防災室・河川課・砂防災課)
- ・岩手河川国道事務所
- ・盛岡地方気象台
- ・齋藤徳美(岩手大学名誉教授)
- ・越野修三(岩手大学客員教授)
- ・井良沢道也(岩手大学教授)
- ・小笠原敏記(岩手大学准教授)

- 支援チームの情報伝達イメージ



県管理河川における水位監視体制 の強化について

【河川課支会】

○画像閲覧方法

「岩手県河川情報システム」
をインターネット検索

トップ画面の右上にある
「カメラ画像」をクリック

「カメラ位置図」から
閲覧したい箇所をクリック

岩手県では、近年の台風や洪水被害を踏まえ、河川の状況を確認できる画像の配信を平成30年3月から開始しました。

平成28年台風第10号による被害の大きかった岩泉町の小本川、安家川などを含む県が管理する全ての水位周知河川でカメラ画像を配信しています。

※馬淵川・安比川で配信。

【河川情報システムの公開画面】小本川（赤鹿）

岩手県 河川情報システム

用語集 >> リンク集 >> カメラ画像 >> 更新

トップ 観測位置図 水位 ▼ 雨量 ▼ タム諸量 ▼ 水防警報 カメラ画像 ▼

カメラ画像 (1/2) ページ切替: < 前ページ | 次ページ > 観測所: 赤鹿

所在地 岩泉町震字赤鹿 1 3 番 2 観測時刻: 2018年05月02日 16時00分

表示間隔: 1時間 | 10分

設置位置 >>




月/日時:分	水位 (m)
05/02 16:00	0.67
05/02 15:00	0.67
05/02 14:00	0.67
05/02 13:00	0.66
05/02 12:00	0.66
05/02 11:00	0.65
05/02 10:00	0.64
05/02 09:00	0.64
05/02 08:00	0.64
05/02 07:00	0.64
05/02 06:00	0.64
05/02 05:00	0.64

河川名 小本川
堤防高 4.870
冠塞危険水位 1.80
遊離判断水位 1.60
冠塞注意水位 1.30
水防回待機水位 0.90

